

浦川原区地域協議会

会長 藤田 宏 禎 様

上越市長 村 山 秀 幸

(新幹線・交通政策課)



浦川原区の公共交通のあり方について (回答)

平成 24 年 3 月 27 日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答いたします。

記

1 意見書の要旨

浦川原区の公共交通は、高齢者など、交通弱者の移動手段の利便性向上を図るため、導入予定のデマンドタクシーは「ドア・ツー・ドア」による運行形態を望む。

2 意見書に対する回答

市では、既存路線バスの運行継続が年々難しくなっていることから、高齢者や児童・生徒など、移動制約者の日常生活を支える交通手段を維持するため、平成 21 年度から地域の実情にあった公共交通への見直しを進めてきており、その一環として、平成 23 年度に、平成 24 年度から 3 年間の実施計画となる“上越市バス交通ネットワーク計画”を策定いたしました。

この計画の中で、浦川原区では、平成 25 年度に、新たな公共交通システムとして“デマンド型乗合タクシー”を導入し、浦川原区と直江津・高田地区を結ぶ路線バスとの適切な機能分担による“階層的交通ネットワーク”の構築を目指すこととしています。

“乗合タクシー”には様々な運行形態がありますが、公共交通として高齢者のほか、児童・生徒、一般の方の移動需要に対応しつつ運行の継続性を確保していくためには、乗合率を高めるなど運行の効率性に配慮するとともに、運行経路やダイヤをイメージしやすくする必要があり、その観点から、ご要望の「ドア・ツー・ドア」については、慎重に検討する必要があると考えております。

なお、運行計画の作成に当たっては、NPO 夢あふれるまち浦川原が実施されている「高齢者医療機関等送迎サービス事業」の成果や課題も参考に検討を進め、試験運行を通じて、地域に最適な運行方法を検証していきたいと考えております。

問合せ先

上越市 総合政策部 新幹線・交通政策課

担当：朝日・市村 電話：025-526-5111 (内線 1789)